

## メルセデス・ベンツ Eクラス に 最新クリーンディーゼルモデル「E 350 BlueTEC」を導入

2010年2月24日

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:ハンス・テンペル、本社:東京都港区)は、メルセデス・ベンツ Eクラス に、最先端テクノロジーにより世界で最も厳しいとされる日本の排出ガス規制をクリアした最新クリーンディーゼルモデル「E 350 BlueTEC(ブルーテック)アバンギャルド」(セダン/ステーションワゴン)を追加し、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じ発売いたします。

### メルセデス・ベンツ E 350 BlueTEC (セダン/ステーションワゴン)の特長

- メルセデス・ベンツの最先端エンジンテクノロジーを駆使した 3 リッターV6 直噴ターボディーゼルエンジンを搭載。電子制御 7 速オートマティクトランスミッション(7G-TRONIC)との組み合わせにより、5 リッタークラスのガソリンエンジンに匹敵する力強い動力性能と、すぐれた静粛性、2 リッタークラスガソリンエンジンなみの燃費経済性を実現。
- 世界で最もクリーンな排出ガス処理システム「BlueTEC(ブルーテック)」を採用し、排出ガス中の有害物質を大幅に低減。世界で最も厳しいとされる日本の「ポスト新長期規制」と欧州排出ガス基準の「EURO6(2014年9月施行予定)」に適合。
- 平成 17 年度燃費基準+20%達成および平成 27 年度燃費基準もクリアする優れた燃費経済性を実現。
- 輸入車初(AT 車としては日本初)、環境対応車としてクリーンディーゼルエコカー免税(自動車取得税/重量税 100%免税)の認定を取得。さらに新車購入補助金対象の認定も取得。(合計、セダン最大約 67 万円、ステーションワゴン最大約 68 万円の優遇措置)
- E 350 BlueTEC ステーションワゴン アバンギャルドは世界に先駆けて日本市場に初導入

メルセデス・ベンツは、1936年世界初のディーゼル乗用車を発売して以来、一貫してディーゼルエンジン技術の改善と高度化を進めてきました。この取り組みは、乗用車用ターボディーゼルエンジン(1977年メルセデス・ベンツ300 SDに搭載)や、粒子状物質除去フィルター(DPF)(1985年、米カリフォルニア州仕様)、4バルブディーゼルエンジン(1997年)、コモンレール直噴ディーゼル(CDI)エンジン(1997年)、メンテナンスフリーのDPF(2003年)など、数多くの画期的なディーゼル技術を実現してきました。

日本においても長年にわたりディーゼルモデルを販売、とりわけディーゼル排出ガス規制が厳格化する中、2006年に先代Eクラスに新世代ディーゼルエンジンを搭載した「E 320 CDI」は、CO<sub>2</sub>削減にも貢献するすぐれた燃費経済性とクリーンな排出ガスを実現しながら、ディーゼルモデルのイメージを覆す力強い動力性能により、発売開始以来約4,000台が販売され、お客様から高い評価をいただきました。

新型E 350 BlueTECに搭載される3リッターV6直噴ターボディーゼルエンジンは、先代モデルE 320 CDIと同様、ピエゾインジェクターを用いたコモンレール・ダイレクト・インジェクションやVNT(バリアブル・ノズル・タービン)ターボチャージャーなどの最新テクノロジーにより、最高出力155kW(211PS)、最大トルク540Nm(55.1kgm)を発生、メルセデス・ベンツ独自の電子制御7速オートマティクトランスミッション(7G-TRONIC)との組み合わせにより、5リッタークラスのガソリンエンジンに匹敵する力強い動力性能と、すぐれた静粛性、2リッタークラスガソリンエンジンなみの燃費経済性を兼ね備えています。

環境適合性の面では、メルセデス・ベンツの最先端テクノロジーを駆使して開発された世界で最もクリーンなディーゼル排出ガス処理システム「BlueTEC(ブルーテック)」を採用し、尿素SCR(Selective Catalytic Reduction:選択型触媒還元)により排出ガス中の窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)を約69%低減するとともに、最新の粒子状物質除去フィルター(DPF)により粒子状物質(PM)を約21%低減、燃焼効率の向上により二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量も約7.2%低減しています。(先代E320 CDIとの比較)それにより世界で最も厳しいとされる日本の「ポスト新長期規制」を、オートマティクトランスミッション搭載のディーゼル乗用車としては日本で初めてクリアしました。

また、燃費経済性においては、10・15モード:13.2km/L(セダン)、13.4km/L(ステーションワゴン)を実現し、平成17年度燃費基準+20%達成および平成27年度燃費基準(JC08モード)もクリア。これに伴ない輸入車としては初めて(AT車としては日本初)、環境対応車としてクリーンディーゼルエコカー免税(自動車取得税/重量税100%免税)に認定されました。さらに新車購入補助金対象の認定も取得した結果、セダンモデルで合計最大約67万円、ステーションワゴンモデルでは合計最大約68万円の優遇措置を受けることができます。

### BlueTEC システム詳細

E 350 BlueTECに搭載される世界で最もクリーンなディーゼル排出ガス処理システム「BlueTEC(ブルーテック)」は、排出ガスに尿素水溶液「AdBlue<sup>®</sup>(アドブルー<sup>®</sup>)」を噴射することにより化学反応(還元作用)を発生させ、有害な窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)を大幅に削減する尿素SCRを採用しています。

専用タンクに保存されるAdBlue<sup>®</sup>は、高温の排気ガスに噴射されるとSCR触媒コンバータ内のセラミックモノリスと化学反応を起こすのに必要なアンモニアに変換されます。アンモニアを加えられた窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)は、化学的な触媒反応によって窒素と水に分解されます。この窒素と水はいずれも自然界に存在する無害な物質であり一切環境の負荷とならず、有害な窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)を大幅に低減します。(先代E 320 CDI比-69%)

また、綿密な燃焼制御と最新の自己再生型 DPF により粒子状物質(PM)を約 21%低減しています。

なお、AdBlue<sup>®</sup>の消費量は 1,000kmあたり約 1 リッター、タンク容量は 24.5 リッターのため、メルセデス指定点検時(1年毎もしくは1万キロ毎)において全国のメルセデス・ベンツ正規販売店にて補充・交換されるため、残量確認など日常のメンテナンスの必要はありません。

E 350 BlueTECは、より多くのお客様に最新のクリーンディーゼルモデルの魅力を味わっていただくべく、魅力的な価格設定としました。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステアリング	メーカー希望小売価格 ( )内は消費税抜き車両本体価格
E 350 BlueTEC アバンギャルド	右	¥7,980,000 (¥7,600,000)
E 350 BlueTEC ステーションワゴン アバンギャルド	右	¥8,330,000 (¥7,933,334)

\* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

なお、E 350 BlueTECにも、メルセデス・ケア(3年間走行距離無制限の無料修理・無料メンテナンスと24時間ツーリングサポート)が適用されます。また、メルセデス・ケアの一般保証および24時間ツーリングサポートを有償にて最大2年間延長するプログラム「My Mercedes サポート」もご用意しております。

メルセデス・ベンツは、日本市場への「E 350 BlueTEC」の導入により、クリーンディーゼル、小排気量ガソリン直噴ターボエンジン(CGI)、ハイブリッドと、3種の環境対応パワートレインを用意している唯一の自動車ブランドとなりました。